

☆新入生対談☆



左から中山・米満・犬伏。(写真・高橋春子)

今年は18名のスポーツ推薦合格者を含む31名(4月7日現在)の新入生が入部。その中で期待のルーキー・中山大貴(経一)・犬伏湧也(商一)・米満一聖(営一)に入部しての寮生活や、リーグ戦直前の心境について語ってもらった。(4月4日収録)

(聞き手・五十嵐秋音)

——入部前後で感じたギャップは

中山「OBが知り合いにいたので話は聞いていましたが、部屋は思ったよりきれいで。でもお風呂が汚いなってちょっと。最初は嫌でしたね」

犬伏「ルールの多さを実感した。先輩も厳しいのかなと思ってたけど、話しかけてくれる先輩は仲良くしてくれる」

米満「入部のちょっと前くらいに厳しい環境ということを聞かされた。決まる前は強い学校で楽しく野球出来るのかなと入って見たらなめていた自分がいけなかったなと思いき知らされるくらい厳しい環境で……」

境で……」

——高校野球と大学野球の違いは

米満「大学野球は選手間どうしでいろいろ言い合って選手同士で解決していく。みんな注意しあってやっていくっていう雰囲気」

犬伏「レベルも、飛距離、球のスピードも全然ちがうし、高校よりレベルが高いという感じ。高校時代は監督の指示で動いてたんですけど、そういうのはなく大学生は自主的に動いている」

中山「一番はストライクゾーンが狭い。大学は球の質とか速さで勝負していかないといけなくて、コントロールは高校より大事だなと思いました」

——チームで憧れの先輩は

米満「一番バッティングで見習いたいなと思うのは齋藤さん。最初の練習のときにビビッときたんです。僕の中では一番好きです」

犬伏「江越さん。何においてもみんなより一つ抜けてて、見習いたい部分はマネしたいなって思っています」

中山「今永さんです。僕も真っ直ぐを投げるのが一番好き。今永さんは真っ直ぐにこだわりを持っていると思うの

で、尊敬できる部分はたくさんあります」

——東都で対戦してみたい選手は

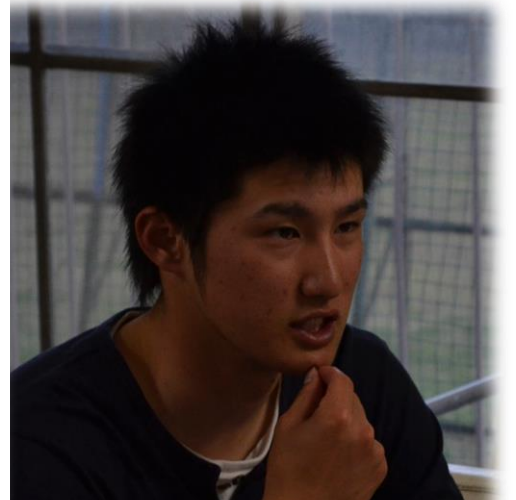
米満「他大の選手を知らなくて、わからないですけど、今永さんとやって打ってみたい一度打席に立たせてもらったのですが高校のピッチャーとはキレが違い、今の僕には絶対打てないと思いました。これから頑張ります」

犬伏「打席に立ちたいのは島袋投手(中大)。絶対打てないと思うんですけど、打席に立つてどんな球なのか見てみたい」

中山「中学校のシニアと一緒に増田(国学大)は試合に出てくれたらうれしいな。あと吉田選手(青学大)がすごいと聞いていて。そういう選手を抑えたら自信になるから、一度でも対戦はしてみたいなって思ってますね」

——自分の性格をどう捉えているか

中山「A型なのにマイペース。人が話していても自分が口をはさんじゃって、会話にならないと言われるらしいですね。常にへらへらしているとよく言われます」



米満一聖(よねみつ・いっせい)敦賀気比高では3年時に選抜4強
右投左打 174cm 70kg 内野手